

台湾支部

第1回台湾支部総会報告

2018年に台湾支部を設立してから、しばらくの間、新型コロナウイルスが世界的な流行をみせはじめ、全世界をパニックな状況に陥りさせることになりました。

新型コロナウイルスが流行し始めたころは、台湾のコロナ感染に対する国境防御を厳しくしたため、コロナ感染拡大を守ることができました。

ただし、新型コロナウイルスが想像以上に威力が凄くて、台湾政府の防疫部署がいろんな対策を打っても、打っても、対処することが手を尽くしてしまっても、対応できなくなると、コロナが蔓延してしまふことになりました。

台湾もそういう厳しい状況になったため、支部総会を開催しようとしても、皆さんの健康、安全を考慮することで総会を開催することができませんでしたが、やっと2023年になって、コロナが少し回復ができて、2023年10月15日に台湾支部の第1回総会を開催することができました。



今回総会開催出席者を招集するため、同窓会に登録されている台湾在住の卒業生、業生のリストに基づいて、招待状を送りました。この招待状によって、

て、何名かの卒業生が総会のことを初めて知って、参加することができました。

その上、依田静江同窓会会長と安西彰子副会長の出席が台湾支部にとってはずごく光栄で、総会を輝かせることができました。

今回の総会にご参加の方の中に、海外に移住している先輩たち、香港の林美恵さん(平4日)、カナダの劉燕玉さん(61日)もちょうど台湾に帰国して、参加することができました。

皆さんが短大で過ごしていた諸々の生活秘話を交わしていく中で、いろんな辛かった、面白かった話が出てきて、思い出を再度味わうことができました。

今回個人の事情で残念で来られない同窓生にも、会食中に、ラインを繋いで、お話をする

ようにして、総会に出席できなくても、すごく感動で楽しく会話をすることができまして、次の回の出席ができるように楽しみにしています。

楽しい時間はいつも早く経ってしまつて、あつと言う間に終わってしまいました。今回総会に参加くださった皆さまに感謝の気持ちいっぱいです。



今後、毎年総会を開催することが順調にできるように努めて行く上、多様な活動も催していけるように、チャレンジしていきます。

平7日 何 恵琴

台湾支部総会に参加して

会長 依田 静江

第1回台湾支部総会の開催おめでとうございます！

2018年に支部が設立、しかしながら2020年に始まったコロナパンデミックで活動の自由を奪われ、我慢に耐え抜いた3年間でしたね。2023年10月15日、この日が来るのをずっと待ちわびていました。

晴天の当日、会場の「台北邊田庄」には8名の方が参集し、途中オンラインで台中と香港から2名参加されました。総勢12名本部から2名のこじんまりとした総会ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気の中、今後の活動方針などを熱く語り合い、とても

充実した総会であつたと感じております。何よりも皆さんフレンドリーで、年代を超えての、青短2年間の四方山話に花が咲き時間を忘れてしまうほどでした。

総会開催にご尽力いただいた支部長何恵琴さん(平7日)活動委員の陳靜芳さん(平8日)お世話になりました。謝!! 謝!!

副会長 安西 彰子

2019年12月、台湾支部から「有志が集まり、今後の活動についての話し合いをする」という連絡がありました。偶然にもその日台湾に行く予定がありましたので、皆さんの会合に参加させていただきました。

今後の活動について、「総会の開催」が第一歩ということになりました。ところが2020年2月から新型コロナウイルス感染症のため活動自体がストップしてしまいました。

コロナが落ち着いた昨年10月、ついに「第1回台湾支部総会」開催となりました。

何支部長の細やかな準備のおかげで卒業生が台湾各地から参加。会場に來られなくてもLINEで参加という方もいらつしました。

本部から依田会長と共に参加させていただき、本當にうれしく思いました。総会後の懇親会では、年齢や学科を越えて、気分は青山キャンパスに集う短大生?にぎやかで和やかな会となりました。